

# 環境経営レポート

## 双葉メッキ工業株式会社古河工場

作成 2024年4月26日

活動期間 2023年4月～2024年3月

- I ・ 登録範囲
- II ・ 事業活動の概要
- III ・ 環境方針
- IV ・ 環境経営運用組織図及び役割・責任・権限
- V ・ 環境目標と実績
- VI ・ 環境活動計画・実績、評価及び次年度の取組に向けて
- VII ・ 環境関連法規等の順守状況及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- VIII ・ 代表者による全体評価と見直しの結果

## I - 登録範囲

事業所	(本社・工場) 〒306-0212茨城県古河市久能 1412-3
-----	-------------------------------------

事業内容	自動車・建築・機械部品などの亜鉛メッキ、ニッケルメッキ、アルマイト処理
------	-------------------------------------

※除外する事業所、事業内容は有りません。

## Ⅱ-事業活動の概要

### 1 事業所及び代表者

事業社名	双葉メッキ工業株式会社古河工場
代表者名	代表取締役社長 矢澤宏幸



### 2 所在地

本社・工場	〒306-0212茨城県古河市久能1412-3
-------	-------------------------

### 3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	櫻田佳典	TEL 0280-92-0841 FAX 0280-92-0842
事務局	矢澤宏幸	

### 4 事業内容

①	自動車・建築・機械部品などの亜鉛メッキ、ニッケルメッキ、アルマイト処理
---	-------------------------------------

### 5 事業規模

2020年度 2020年4月1日 ~ 2021年3月30日  
 2021年度 2021年4月1日 ~ 2022年3月31日  
 2022年度 2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	200	222	219
従業員	人	24	24	24
床面積	㎡	1,200	1,200	1,200

## Ⅲ-環境経営方針

### 双葉メッキ工業(株)古河工場 環境経営方針

#### 【基本理念】

双葉メッキ工業(株)古河工場は、金属部品の表面処理を行う会社として、環境問題が事業活動における最重要課題の一つであることを認識し、地域住民、お客様との相互信頼のもとに、全従業員が参加して環境経営を推進し、地球環境および地域環境に関する保全活動を積極的に展開します。

#### 【基本方針】

双葉メッキ工業(株)古河工場は、環境負荷の少ない事業活動を目ざし、継続的に推進します。

#### 【行動指針】

1. 生産活動において省資源や省エネルギーに努め、原材料・水・廃棄物の削減を推進し又電力や燃料などの削減も併せて行います。
2. 工場廃水の維持管理を的確に行い汚染水の流出防止を努めると共に、化学物質の使用・管理など法令を遵守し環境汚染防止に努めます。
3. 環境に関する製品への要望事項及び要求事項には、顧客と合意の上、真摯に対応していきます。(REACH規則)、(RoHS指令)
4. この環境方針を達成するため、社長のもとに目標を設定し全部門、全従業員をあげて環境保全活動を行います。
5. 全従業員に環境方針を周知させ教育・啓発活動を推進し、環境に対する意識・知識の継続的向上を図ります。
6. 環境マネジメントシステムの運用について広く情報の開示を図り、適切な情報提供に努めます。
7. 事業目的を達成するため意思決定を継続的・計画的に行い、事業の管理・遂行をするための課題とチャンスに取り組みます。

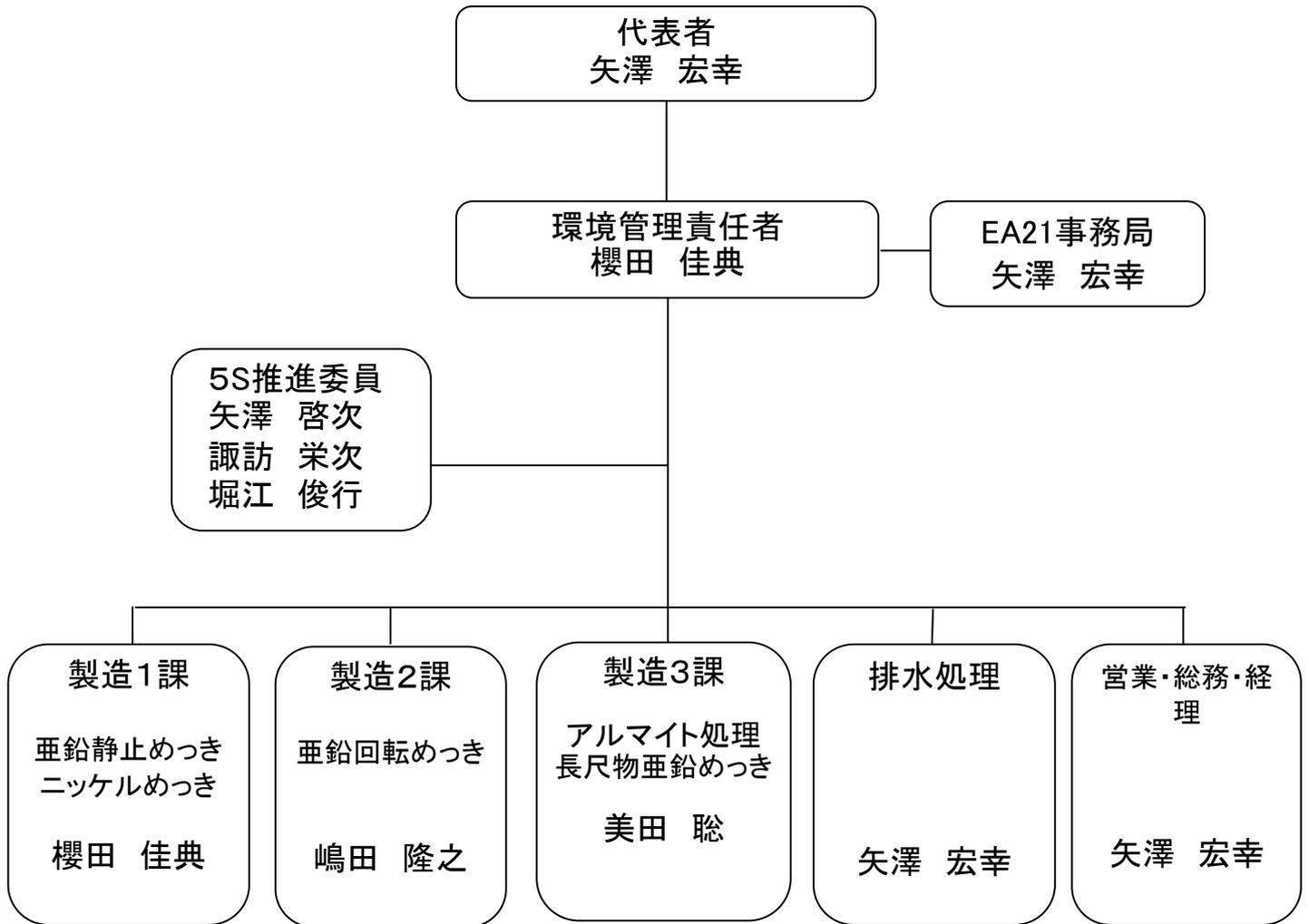
2011年 4月 27日 制定

2021年 4月 1日 改定

双葉メッキ工業株式会社古河工場  
代表取締役 矢澤 宏幸

# IV-環境経営運用組織図 及び役割・責任・権限

2024年1月



組織の構成員	役割・責任・権限
代表者	①環境方針を定める。 ②環境管理責任者を任命すると共に、環境経営組織、役割、責任を定める。 ③必要な経営資源を提供する。 ④活動の実績を環境管理責任者に求め、必要な指示を行う。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、運用の責任者と権限を有する。 ②運用状況の全体について把握し、代表者に報告する。
EA21事務局	①環境管理責任者を補佐し、環境経営システムを円滑に運用する。
各部門長	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関連する活動及びその他環境管理責任者からの指示事項についても実践する。
従業員	①部門長から指示のあった事項について実践する。
5S推進委員会	①環境経営システムの報告、審議、決定などの会議体とする。 ②代表者を委員長そして、環境管理責任者、事務局及び部門長で構成し、四半期ごとに開催する。

## V-環境経営目標とその実績

NO	目的項目			2023年度 (2023年4月～2024年3月)		2024年度 (2024年4月～2025年3月)		2025年度 (2025年4月～2026年3月)	
	目的(ゴール)	基準 2019年度実績 (売上高原単位評価)	単位	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1	二酸化炭素排出量の削減 ※1	1,813.9	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	0.4%減	1,628 (111%)※2	0.5%減		0.6%減	
		386,718	kg-CO <sub>2</sub>	1,806.6	357,063	1,804.8		1,803.0	
2	電気使用量の削減	2,229.0	kwh/百万円	0.4%減	2009.3 (110%)	0.5%減		0.6%減	
		475,232	kwh	2,220.1	440,642	2,217.9		2,215.6	
3	水使用量の削減	72.7	m <sup>3</sup> /百万円	0.4%減	59.8 (121%)	0.5%減		0.6%減	
		15,508	m <sup>3</sup>	72.4	13,114	72.3		72.3	
4	産業廃棄物の削減	148.7	kg/百万円	0.4%減	84.5 (177%)	0.5%減		0.6%減	
		31,702	kg	148.1	18,520	148.0		147.8	
5	灯油使用量の削減	297.9	L/百万円	0.4%減	268.5 (110%)	0.5%減		0.6%減	
		63,511	L	296.7	58,875	296.4		296.1	
6	軽油使用量の削減	32.9	L/百万円	0.4%減	27.4 (120%)	0.5%減		0.6%減	
		7,011.4	L	32.8	6,006.2	32.7		32.7	
7	酸・アルカリ使用量の削減	179.2	kg/百万円	0.4%減	155.3 (115%)	0.5%減		0.6%減	
		38,215	kg	178.5	34,055	178.3		178.1	
8	PRTR対象化学物質使用量の削減	0.914	kg/百万円	0.4%減	0.718 (126%)	0.5%減		0.6%減	
		194.9	kg	0.910	157.4	0.909		0.909	

※1 基準年である2019年の東京電力エナジーパートナー(株)排出係数(0.442)を一定にしてCO2を算出する

※2 実績値の( )内は目標値に対する達成率

赤字 総量

## VI. 環境活動計画・実績、評価及び次年度の取組に向けて

### ① 二酸化炭素排出量の削減

#### ■ 目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
1,813.9	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	1,806.6	1,628    達成率 111%

#### ■ 活動内容

○: 目標達成    △: 目標達成率90%以上    ×: 目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績（達成率）	106%	○
電気使用量、灯油使用量、軽油使用量の削減活動を行う。	各項目で対応	○

#### ■ 次年度の取組

電気使用量、灯油使用量、軽油使用量の削減活動を行う。

### ② 電気使用量の削減

#### ■ 目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
2,229.0	kwh/百万円	2,220.1	2,009.3    達成率 110%

#### ■ 活動内容

○: 目標達成    △: 目標達成率90%以上    ×: 目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績（達成率）	110%	○
めっき工程内の接点部を磨き電流効率を上げる。	定期的を実施。	○
照明の節電の意識付け。	朝礼時に実施。	○

#### ■ 次年度の取組

節電を意識する為の教育を行う。

③水使用量の削減

■目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
72.7	m <sup>3</sup> /百万円	72.4	59.8 達成率 121%

■活動内容

○:目標達成 △:目標達成率90%以上 ×目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績（達成率）	121%	○
節水の意識付け	節水に対しての意識付けを行った。	○

■次年度の取組

冬場の凍結防止の為の放水を保温ヒーター等で補う。

④産業廃棄物の削減

■目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
148.7	kg/百万円	148.1	84.5 達成率 177%

■活動内容

○:目標達成 △:目標達成率90%以上 ×目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績（達成率）	177%	○
汚泥の乾燥。	汚泥を乾燥し含水率を減らし重量を減らす。	○
社内での処理液の再利用。	処理液を別のラインで再利用する。	○

■次年度の取組

処理液の再利用等で交換サイクルを延ばす。

⑤灯油使用量の削減

■目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
297.9	L/百万円	296.7	268.5 達成率 110%

■活動内容

○:目標達成 △:目標達成率90%以上 ×目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績（達成率）	110%	○
ボイラー運転時間の調整。	こまめにON、OFFで無駄をなくす。	○
暖房器具の無駄な使用をしない。	必要ないときは消す。	○

■次年度の取組

投げ込みヒーター等を利用し加熱、保温を補助する。

⑥軽油使用量の削減

■目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
32.9	L/百万円	32.8	27.4 達成率 120%

■活動内容

○:目標達成 △:目標達成率90%以上 ×目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績（達成率）	120%	○
アイドリングストップ。	運転手に周知。	○
エコドライブの徹底。	運転手に周知。	○

■次年度の取組

アイドリングストップの徹底。

⑦酸・アルカリ使用量の削減

■目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
179.2	kg/百万円	178.5	155.3 達成率 115%

■活動内容

○:目標達成 △:目標達成率90%以上 ×目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績(達成率)	115%	○
処理液を別部門で再利用する。	再利用して使用量が削減できた。	○

■次年度の取組

処理液の交換サイクルを延ばす。

⑧PRTR対象化学物質使用量の削減

■目標値及び実績値

基準値 2019年度実績(売上高原単位評価)	単 位	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	
		目標値(0.4%減)	実績値
0.914	kg/百万円	0.910	0.718 達成率 126%

■活動内容

○:目標達成 △:目標達成率90%以上 ×目標達成率90%未満

環境活動計画	実績	評価
環境目標の実績(達成率)	126%	○
使用量の把握	各部門ごとに使用量を把握する。	○

■次年度の取組

処理液の性質を把握し削減に繋げる。

## VII・環境関連法規等の順守状況及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ◆環境関連法規等の違反における関係当局からの指摘及び訴訟は過去3年間ありません。
  - ◆当社が行った環境関連法規の遵守状況の結果において遵法であることを確認しました。
- 以下は、主な適用法令と遵守評価結果である。

評価 ○：遵守している ×：違反している

法令等の名称	主な内容	評価結果
水質汚濁防止法	排水処理施設の管理（排水基準の管理）	○
	県の排水基準に基づき 1日3回の自社簡易分析、月1回の業者委託による分析を行っている。	○
毒劇物取締法	毒劇物取扱者の選任、盗難、紛失、流失等の防止	○
廃棄物処理法	マニフェストの管理、契約書等の確認	○
浄化槽法	指定業者による保守点検等	○
公害防止組織法	公害防止管理者の選任	○
消防法	該当外(少量取扱量未満の数量管理のみ)	○
PRTR法	特定化学物質の環境への排出量の把握、使用数1トン未満の為、PRTR法対象外。	○
フロン排出抑制法	指定業者による保守点検等	○
騒音規制法・振動規制法	定格出力 1.5KW、2.2KW、2.2KWで特定施設に該当せず	○

## VIII・代表者による全体評価と見直しの結果

## 代表者による全体評価と見直しの結果

作成 社長	作成 環責者
矢澤	櫻田 2024.4.18

環境管理責任者から提供された情報	環境管理責任者は各項目毎に問題点等を判りやすく整理して代表者へ提供する。
①目標の達成度及び環境活動計画の実施状況  (確認文書名)FED③FER⑬環境目標一覧表 FED④FER⑭環境活動計画・実績表	・全項目で目標を達成することができた。 要因としては、景気に左右され仕事量が不安定だったが、効率よく作業ができた。 従業員の対応力が向上している。
②法令等の遵守状況  (確認文書名)FED②FER⑫環境法令等一覧表	適正に遵守されています。 引き続き、社員全員へ周知し教育につなげていく。
③問題点の是正処置及び予防処置の結果  (確認文書名)FER⑮不適合・是正処置報告書	・特になし
④外部からの苦情等の受付結果  (確認文書名)FER⑤環境苦情対応記録	2024年4月18日現在苦情なし。
⑤法令等の動向  (確認文書名)FER④環境情報受付記録 及び関連文書	FED②FER⑫環境法令等一覧表にて各法令を1年毎に見直し。
⑥その他のEMSに関する問題点  (確認文書名)FED①環境方針、運用体制及びその他EMSに関するもの	特にありません。

代表者から 環境管理責任者への指示事項	環境方針	変更の必要性      有 <b>無</b>
		指示事項 ・朝礼にて社員教育を図り邁進して行く事。 ・新入社員への教育も随時行っていく事。
	環境目標	変更の必要性      有 <b>無</b>
		指示事項 ・目標の達成について  景気が不安定な中、効率よく作業ができ無駄を削減できた。こうした取り組みを社員1人1人が意識できる様、さらに教育、実践をおこなっていく事。  ・法令について  環境に対する法令はどんどん厳しくなっていくので、常に情報の収集をおこなっていく事。
	実施体制及び環境経営システムのその他の要素	変更の必要性      有 <b>無</b>
		指示事項 特に無し